

これまでの経緯と今後の進め方

令和7年7月29日（火）

愛媛県

「愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン」2040年頃の目指すべき将来像

若者をはじめ、県民誰もが自らの希望を実現でき、
安全・安心で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県

- ◆ 少子化・人口減少が進む中、本県が持続的に発展していくためには・・・
⇒ 賑わいのある街づくりを進め、シビックプライドの醸成を図っていくとともに、地域の魅力を高めることで、国内外から多くの人を呼び込み、交流人口を拡大していくことが重要。

交流人口の拡大に向けて

- ◆ 休日型の日本人による国内観光
- ◆ 平日型の国際的なMICEの開催や欧米豪など海外富裕層旅行者の誘致が重要

本県の現状は・・・

- ◆ G20大臣会合に続く国際的なMICE誘致が進んでいない。
(コロナ禍+バンケット業務を行うホテル等の減少)
- ◆ 訪日外国人海外旅行者における本県の認知度が低い。
(本県の認知度は7% (広島: 35%、岡山: 14%))

交流人口の拡大を図り、多くの人・モノ・カネ・情報を呼び込んでいくため、
国内イベントや国際会議の誘致といったMICE機能の向上を図る。

MICEとは

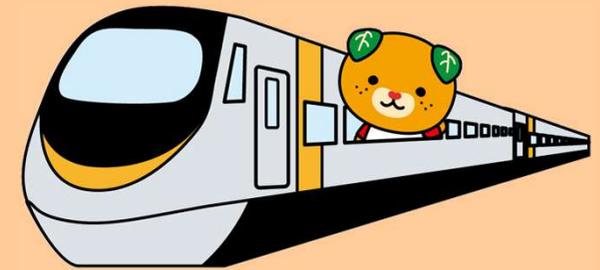
M_eeeting

企業等が目的に応じて関係者を集めて
行う会議



I_ncentive travel

企業が、従業員や代理店等の表彰、研修等
を目的として実施する旅行



C_onvention

国際機関・団体、学会等が主催または後援
する会議



C_onference

E_xhibition

E_vent

国際機関・団体、学会等が主催または後援
する展示会、見本市、イベント等



MICEの事例（学会等）

全体会

開会式、基調講演 等

懇親会

立食パーティー 等

分科会

テーマ別の
研究発表

ポスター展示

ポスター形式での
研究内容紹介

企業展示

協賛企業による
ブース設置 等

このような開催プログラムの学会等では、

全体会・分科会・展示・懇親会を1施設内で運営できることが望ましい

これまでの実施状況

R5年度	7月19日～ 8月18日	県民文化会館南側県有地の 活用アイデア募集
	11月20日	県民文化会館南側県有地「 活用の方向性 」公表 ※ 民間事業者主体 の官民連携事業
	11月21日～ 2月13日	事業協力者募集【1回目】 （提案1者）
	1月30日	県民文化会館南側県有地活用事業 審査委員会（第1回）
	2月26日	県民文化会館南側県有地活用事業 審査委員会（第2回） ➡ 提案のあった1者 について参加資格要件を満たさないものとして 失格
	3月21日～ 8月30日	事業協力者募集【2回目】
R6年度	8月19日	参加表明のあった2者が提案を辞退したことから、募集を中止し、事業スキームを再構築する旨を発表

今後の対応

募集中止の主な要因

- 急激な円安の進行や金利政策の変更、大阪・関西万博や半導体工場建設に伴う建設費の高騰や人手不足等に伴い事業環境が悪化したこと
- 分科会等に対応できる会議室機能や、人材確保も含めたバンケット機能の収益性の低さがハードルとなったこと

課題解決に向けて → 本検討会議で議論いただいた意見を基に、「活用の方向性」を改訂

- 民間事業者主体による整備方針を一部見直し・官民の役割分担を明確化

【県】

県民文化会館の設備拡充や、不足する会議室・駐車場の整備など、MICE施設としての機能強化・MICE誘致体制強化の検討 など

【民間】

宿泊・集客施設等の整備に対する集中的な投資

- サウンディング調査とともに、公募要件や募集再開時期の精査を行う

検討会議のスケジュール

R7年度	7月29日	検討会議（第1回）での意見聴取 県民文化会館における課題を踏まえた機能強化等の方向性 など	
	8月下旬	検討会議（第2回）での意見聴取 県民文化会館南側県有地「活用の方向性」の改訂内容 など	
	9月（予定）	県民文化会館南側県有地「活用の方向性」改訂	
	10月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・サウンディング調査 ・公募要件、募集再開時期の精査 	
(時期未定)		検討会議（第3回）での意見聴取 事業協力者募集の公募要件 など	※必要に応じ第4回以降を開催
		事業協力者募集の再開	